

2015年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体)

最終報告書



記 入 日 2015年11月30日

実践団体名		兵庫県立神戸聴覚特別支援学校	
連絡先		078-709-9301	
プランタイトル		聴覚障害のある幼児児童生徒の防災を考える	
		番号*	詳細
1 プランの対象者	1,2,3,4,5,8,9,10,11,13,17		本校の幼児児童生徒、育友会、同窓会、地域住民
2 対象災害種別	1,5,6		火災避難訓練 地震避難訓練 不審者対応訓練
3 プランの目的	4,6,8		聴覚障害のある幼児児童生徒に防災時の対応について考えさせる。
4 協力・連携先	1,2,3,4,5,7		垂水区地域自立支援協議会、日本赤十字社、垂水消防署、兵庫県立舞子高等学校、垂水警察署、手話サークル
5 プログラムの種類	1,2,3,4,5,7,10		避難訓練、防災デー、防災プロジェクトチーム
参考先進事例	活動年度	3年	団体名 高知県高知東高等学校
	参考内容	学校から地域、学校へ	

※ 赤枠は別紙「記入上の留意点」の各項目から選択し、記入してください。

地域特性に応じたアレンジ・工夫点	<p>①本校は神戸市の臨海部に位置し、地震・津波対策は急務である。</p> <p>②兵庫県下の聴覚障害教育の拠点校として、障害を有する子ども達の防災意識の向上を図る。</p> <p>③地域への呼びかけ、協力体制の確立を通じて、助け合いの意識を高め、支援を受けるだけでなく、地域に貢献できる人材の育成を防災教育を通じておこなう。(自助・共助)</p> <p>④聴覚障害の特性に配慮し、視覚的にも理解しやすい情報の提示・伝達について協議する。</p> <p>⑤阪神・淡路大震災から21年目を迎え、震災を風化させないように、震災の教訓を「伝え」「活かし」次の震災に「備える」防災教育の推進をおこなう。</p>
実施スケジュール内容・成果*	<p>4月 非常食の備蓄と管理 小・中学部 緊急時の引き渡し訓練</p> <p>[成果] 保護者の災害時の引き渡しの方法の確認 避難所担当職員と幼児児童生徒の顔合わせ 避難場所の確認 (幼児・児童・生徒・職員・保護者)</p>

2015年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 最終報告書



[成果] 教職員が果たすべき役割を教職員間での共通理解
不審者対応訓練(幼児・児童・生徒・職員)

[成果] どのようにして、自分の命を守れば良いかの学習

5月 職員の AED 研修会

[成果] AED の使用法を訓練することにより、緊急事態の迅速な対応

6月 職員の不審者対応訓練(垂水警察から指導に来てもらう)

[成果] 学校へ不審者が侵入した場合、管理職への情報伝達、幼児児童
生徒への注意喚起、避難誘導等や、警察、消防署等の関係機関
への通報など、緊急時に対応する訓練

火災避難訓練(幼児・児童・生徒・職員・保護者)

[成果] 先ず煙発生場所から素早く遠くに逃げて、命を守れば良いかの
学習

建物自主点検

7月 ヘルプカードの試験使用及びアンケートへの協力

(垂水区地域自立協議会事務局)

緊急メール連絡網(阪神電気鉄道会社ミマモルメ)

兵庫防犯ネットへの登録の推進(垂水警察)

11月 防災デー実施

①地震避難訓練 ②阪神淡路大震災の DVD を見る ③阪神淡路大
震災の経験についてインタビュー形式による講演会で被災時の
様子やボランティア活動の様子を聴く。④長期の避難所での生活
によるストレスを軽減し、被災者に楽しんでもらうための活動の
一環として行った、刀削麺試食し、野菜のカービングを見て楽し
んだ。

[成果] 防災学習の関心を更に高め、防災意識の向上

関連機関や地域の方との交流

高等部の取り組み

- ・兵庫県立舞子高等学校環境防災科との交流
- ・兵庫県青少年赤十字協議会主催の平成 27 年度 JRC リーダーシッ
プ トレーニング・センターに参加(防災プロジェクトチーム)
- ・防災新聞の発行(防災プロジェクトチーム)
- ・防災掲示板の活用 防災に関するポスターの作成及び掲示(防災プロ
ジェクトチーム)
- ・募金活動に参加(舞子高校と協力)(防災プロジェクトチーム)
- ・防災頭巾の作成(Ⅱコース)
- ・第 11 回兵庫県障害者芸術・文化祭において「花は咲く」を手話歌と
演奏(高等部有志)
- ・閑上のご当地ソング「望郷・港町」に手話を付けた DVD を作成し現地
で上映した。

2015年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体)

最終報告書



	<p><u>中学部</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と未来の防災 見学 ・総合学習でパソコンを使用したり、垂水図書館に行き、調べ学習を行い、掲示板に掲示及び発表した。 ・防災頭巾の作成 ・兵庫県立舞子高等学校環境防災科との交流 <p><u>小学部</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県立舞子高等学校環境防災科との交流 ・防災ダックの学習 ・避難訓練後の事前事後指導 <p><u>幼稚部</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災ダックの学習 ・避難訓練後の事前事後指導
<p>全体の反省・感想・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震工事中のため場所の確保に苦労した。 ・本校は保育相談部から高等部専攻科までの幼児児童生徒を対象とするため、体力、発達段階、時程などが異なるので、学校全体での活動の企画が難しい。 ・防災デーで地域住民、一般参加者があったため時程や内容に計画に苦労した。
<p>今後の継続予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の継続実施 ・関連機関及び地域との連携を図る ・防災学習を続ける

※ 写真の添付など、枠内に収まらないときは裏面自由記述欄を使用してください。

2015年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 最終報告書



自由記述欄 (必要に応じ、具体的な活動記録を自由様式で補足添付することが可能です。頁数自由)

11月26日：防災デー

地震訓練の様子



体験講話



刀削麺体験



2015年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体)

最終報告書 記入上の留意点



最終報告書の作成にあたり、赤枠の項目について、以下を参照し該当番号を記入し、具体名称等を詳細欄に記入をお願いします。

「その他」を選択した場合は、詳細欄に具体的内容を記入してください。

1. プランの対象者について (複数選択可)

	項目		項目		項目
1	幼児・保育園児・幼稚園児	8	教職員・保育士等	15	高齢者
2	小学生(低学年)	9	保護者・PTA	16	海外
3	小学生(高学年)	10	地域住民	17	防災関係者
4	中学生	11	社会人・一般	18	全ての人々
5	高校生	12	女性	19	その他 ()
6	大学生	13	障がい者		
7	外国人留学生	14	養護学校児童生徒		

2. 対象災害種別について

	項目		項目
1	地震	5	不審者・犯罪被害
2	津波	6	火災
3	水害	7	災害全般
4	火山噴火	8	その他 ()

3. プランの目的について

	項目		項目
1	遊び・楽しみながらの防災	6	防災に関する知識を深める
2	防災に役立つ資料・材料づくり	7	技術を身につける
3	災害に強い地域をつくる	8	防災意識を高める
4	災害を想定した訓練	9	災害対応能力の育成
5	災害を疑似体験	10	その他 ()

4. 協力連携先

	項目		項目
1	学校・教育関係	6	企業・産業関連の組合等
2	同窓会組織	7	ボランティア団体・NPO法人・NGO等
3	保護者・PTAの組織	8	職業、職能団体
4	地域組織	9	学術組織、学会等
5	国・地方公共団体等	10	その他 ()

5. プログラムの種類について (複数選択可)

	項目		項目		項目
1	イベント・行事	7	学校内クラブ活動	13	体験学習
2	講習会・学習会・ワークショップ	8	その他学校内での時間	14	読書・絵本・読み聞かせ
3	講演会・シンポジウム	9	校外学習・移動教室	15	演劇
4	総合的な学習の時間	10	家庭学習	16	避難・防災訓練
5	教科学習	11	出前授業	17	その他 ()
6	学級活動	12	研究		